

IBARAKI TOYOPET

CSR REPORT 2026



1956 ▶ 1960 ▶ 1970 ▶ 1980 ▶ 1990 ▶ 2000 ▶ 2010 ▶ 2020 ▶ 2026



茨城トヨペット CSRレポート 2026

創業70周年特集

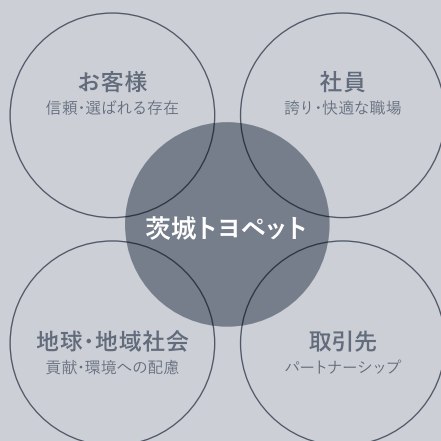


Web版はこちらから

“CSR”とは 「企業の社会的責任」

Corporate Social Responsibility

CSRとは、企業が利益を追求するだけでなく、
社会や環境へ与える影響に責任を持ち、
企業に関わる全ての人たちからの要求に対し、
企業として適切に応えることです。



私たちは、社会的責任を果たすために
お客様、地球・地域社会、取引先、社員の
4つのステークホルダー※のニーズを満たし
満足度を高めることが重要だと考えています。

企業価値を高め、
「地球・地域社会から愛され、選ばれる存在」
であり続けるために
社会とともに持続可能な発展を目指します。

※ステークホルダー: 企業に対して利害関係を持つ人のこと。
お客様や社員、株主だけでなく、地域社会も含めて指す場合が多い。

CSR REPORT 2026

CONTENTS

- 04 **トップ・メッセージ**
70年分の感謝と、人の幸せを原動力に
- 06 **特集 ウェルビーイングな働き方**
07 誰もが自由に参加できる懇談会 ARIGA島 〜ありがじま〜 とは？
08 充実の研修制度 ー自分らしく輝き、成長を楽しむー
09 2025年度 茨城トヨペット サービススキルコンテスト
- 10 **茨城トヨペットの誓い**
CSR基本方針／環境方針／労働安全衛生方針
- 12 **特集 茨城トヨペット70年の歩み**
年表で見る 日本とクルマと茨城トヨペット
- 18 **環境保全活動**
地球環境の保護と豊かな社会を実現するために
- 20 **2025年度 環境報告**
24 イベントレポート
- 25 **会社概要**
県内全域に及ぶ安心のネットワーク
- 26 **ご意見・ご感想**



編集方針

本レポートは、茨城トヨペット株式会社のCSR(企業の社会的責任)に関する取り組みについて、“お客様”“地域の皆様”“取引先”“社員”の4つのステークホルダーの皆さまに、わかりやすくご報告できるよう努めました。CSRの取り組みは、皆さまとの対話なしには成り立ちません。本レポートをコミュニケーションの一助としてお読みいただき、巻末のアンケートフォームからご意見をお寄せいただければ幸いです。

本レポートはスマートフォンやPCでもご覧いただけます。

<https://www.ibaraki-toyopet.co.jp/csr>

スマートフォンをご利用の方は表紙記載の二次元バーコードから、
PCをご利用の方は上記URLより茨城トヨペットのホームページにアクセスしてご覧いただけます。

TOP MESSAGE

「茨城トヨペットCSRレポート2026」をご覧いただき、誠にありがとうございます。私たちがこうして歩み続けられるのは、日頃よりご愛顧いただいているお客様、お取引先の皆様、地域の皆様、そして共に働くメンバーの支えがあったからこそです。心より感謝申し上げます。

現在、私たちの社会は大きな変化の只中にあります。世界情勢の不安定化や気候変動への対応、カーボンニュートラルの実現など、進むべき道は決して平坦ではありません。しかし、私たちはこうした変化を静観するのではなく、自らが変化の起点となり、新しい価値を創造していく好機と捉えています。

AIと人間性が響き合う、新しいモビリティ時代へ

近年、AI技術の進化は「移動」の価値そのものを劇的に変えつつあります。近い将来、「どのようなAIが搭載されているか」が車選びの決定的な要素となる時代が訪れるでしょう。

私たちは、販売や整備といった従来の役割を深化させると同時に、AIを積極的に業務へ取り入れています。それは単なる効率化が目的ではありません。

AIという知性と、私たち人間ならではの感性を融合させることで、定型的な業務から解放された時間、お客様一人ひとりに寄り添う「真心のサービス」へと充当していくためです。

変化を力に変え、地域のお客様に想像を超える感動をお届けすることが、私たちの使命だと考えています。

カーボンニュートラルへの覚悟： 持続可能な地域のために

自動車業界にとって、カーボンニュートラルの実現は避けて通れない最重要課題です。私たちは2024年、環境方針「茨城トヨペットの誓い」に気候変動対応へのコミットメントを正式に加え、「環境に配慮しながら本業を推進する」という姿勢を明確にしました。

多様な選択肢を追求する「マルチパスウェイ戦略」

70年分の感謝と、 人の幸せを原動力に

茨城トヨペット株式会社
代表取締役社長

幡谷 俊一郎

のもと、HEV・PHEV・BEV・FCVといった電動車の普及に注力し、お客様のライフスタイルに合わせた環境負荷低減を提案しています。また、自社においてもソーラーパネルの活用や再生可能エネルギーの導入を加速させています。

環境を取り巻く議論は多岐にわたりますが、私たちは地域に根ざす企業として、次世代に豊かな環境を引き継ぐための歩みを止めることはありません。

「ありがとう」の循環が、組織を強くする

私たちは「日本一『ありがとう』であふれる会社」を目指しています。お客様、お取引先、そしてメンバー同士で温かな感謝が行き交う会社—これが私たちの目指す姿です。

この文化を育むため、社内コミュニケーションプラットフォームを通じた称賛の共有や、お客様からの感謝の声をメンバーの表彰へ繋げる取り組みを行っています。また、月次のリモートミーティングは、店舗の垣根を越えて価値観を共有し、全員が自発的にアイデア



を出し合える場として機能しています。こうした取り組み、対話の積み重ねを通じて、変化を恐れない柔軟な組織文化が着実に育ってきていると感じています。

メンバーの幸せ(Well-Being)を 経営の核に

本レポートの重要なテーマは“Well-Being(ウェルビーイング)”です。私は、お客様に最高の笑顔をお届けできるのは、メンバー自身が心身ともに充実し、幸せを感じながら働いている時だけだと確信しています。

仕事に充実感を持ち、プライベートも大切にできる環境があってこそ、お客様への真心のサービスが生まれます。

育児・介護休業の取得推進や年間休日の拡充、1on1面談による対話の重視など、多方面から環境を整えています。私の役割は、単なる経営者ではなく、一人ひとりの成長と幸せを支える「環境整備人」であることです。

メンバーが幸せであれば、それがお客様の幸せへと

繋がり、ひいては地域社会の幸福へと広がる。この「幸せの好循環」こそが、茨城トヨペットの強さだと信じています。

創業70周年から、次の70年へ

2026年、茨城トヨペットは創業70周年を迎えました。この歴史は、時代ごとの荒波を越えながら「お客様のために何ができるか」を問い続けてきた、挑戦の歴史でもあります。

私たちはこれからも、1956年の創業から変わらぬ「地域と共に歩む」という精神を胸に、電動化・AI化・脱炭素化という歴史的転換期を先導してまいります。常に学び、改善し、組織全体をブラッシュアップし続け、新しい時代にふさわしい価値を創り続けていくことをお約束します。

70年分の感謝を力に変え、次の70年も地域で最も必要とされる存在であり続けるために。これからも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

ウェルビーイングな働き方

特集

仕事も、人生も、もっと豊かに。

Well-being(ウェルビーイング)とは、心身ともに満たされた「よい状態」のことです。

単なる健康にとどまらず、心身の調和や他者との良好な関係を含む広い意味での幸福感を意味しており、「こころ・からだ・社会的なつながり」が健やかで満たされている状態を指します。この三つの調和こそが、社会人として、人間として、持続可能な幸せを築くための指針となります。

Well

良好な

Being

状態

こころ

からだ

社会

スタッフの笑顔が、お客様の笑顔につながる。

茨城トヨペットが追求するのは、スタッフの「働きがい」と「生きがい」の両立です。「ここで働いてよかった」と思えるやりがいと、仕事以外の充実。スタッフ一人ひとりの人生が充実してこそ、お客様の心に寄り添う「最高のおもてなし」が生まれると信じています。

スタッフの幸せを、お客様へお届けする「安心」と「笑顔」につなげてまいります。

持続可能な成長を支える、ウェルビーイングの基盤。

スタッフ一人ひとりの心身の健康と幸せは、会社が共に歩んでいくための大切な土台です。日々の暮らしを支え、心にゆとりをもたらす福利厚生は、スタッフの頑張りを支える「安心のしるし」でもあります。

スタッフが不安をなくし、毎日を自分らしく笑顔で過ごせるよう、これからも働く環境を整え続けます。

一人ひとりと向き合い、未来の仲間を迎えるために

私は現在、採用担当として、学生の皆さんに仕事への理解を深めてもらうための活動や、会社の魅力を伝える役割を担っています。一人ひとりの思いや価値観に寄り添いながら、会社と学生の双方にとって良い出会いとなるよう、日々の活動に取り組んでいます。

採用担当としての役割を担うことになった当初は、経験や知識の少なさから不安や戸惑いを感じましたが、学生さんたちの真剣に将来と向き合う姿に触れる中で、採用活動が一人ひとりの人生や会社の未来に関わる重要な仕事であると強く感じ、責任感を持って業務に向き合うようになりました。

そこでまず、「日本一『ありがとう』であふれる会社」という言葉に込められた想いや具体的な取り組みを、自分自身の言葉で説明できるようになることを最初の目標にしました。各部署や店舗の方々に話を伺いながら、日々の業務の中で大切にされていることを一つひとつ理解し、少しずつ自分の中に取り入れていきました。

採用活動では、学生が抱える不安や疑問に丁寧に向き合うことを何よりも大切にしています。企業選びに迷っていると感じたときには、店舗見学の機会を設け、実際の職場の雰囲気や働く方々の想いを直接感じてもらうことで、未来の仲間たちに安心して進路を選んでもらえるよう努めています。

会社はこれからも変化し続けていきます。その変化をただ見守るのではなく、主体的に関わりながら、より良い方向へと進めていく一員でありたいと考えています。

本社 人財創造課 福田スタッフ





私はサービスエンジニアとして、日々お客様のおクルマを安心・安全にお使いいただけるよう、点検や整備に取り組んでいます。

結婚後まもなく第1子が誕生し、男性でも育児休暇が取得できることを研修で知り、家族のためにもぜひ活用したいと考えました。

現在は2人の子どもがいますが、どちらの出産時にも育児休暇を取得しました。いずれも約1か月の休暇を2回に分けて取得し、育児に関わる時間を確保することができました。

取得にあたっては人事担当の方から制度について丁寧な説明を受け、安心して手続きを進めることができました。制度が整っているだけでなく、周囲が支えてくださる職場環境があることで、安心して育児休暇を取得できたと感じています。

休暇中は妻と家事や育児を分担して過ごし、現在も看護師として多忙な妻と、役割を意識して協力し合っています。育児休暇を取得したことは、家庭と向き合う大切な機会になったと感じています。

育児休暇取得後でも、子どもの体調不良などの際には周囲に相談しながら対応することができ、店長はじめ周りのスタッフに大変感謝しています。子育てをしながら働き続けやすい制度や環境が整っていることは、私たち家族にとって大きな支えとなっています。

これからは支えていただいていることへの「ありがとう」を忘れず、技術者として成長し、会社や職場に貢献できるよう努めていきたいと考えています。

神栖店 サービスエンジニア 藤久スタッフ

育児休暇を通して深まった、「ありがとう」の気持ち



誰もが自由に参加できる懇談会 ARIGA島 ~ありがじま~ とは？

ARIGA島は、当社のES(従業員満足)向上を目的に実施している、自由参加型の価値共有のイベントです。立場や部署を越えたコミュニケーションの場として、半年に一度開催しています。

当日参加のメンバーは役職や年齢に関係なく全員がフラットな立場で会話できることが特徴です。肩書きを気にせず、相手の意見を否定せず話し合いができる雰囲気づくりを大切にしています。

参加者は毎回ランダムに数名のグループ(通称“小島”)に分かれ、各グループにはファシリテーター(進行役)を配置。初対面同士でも自然に対話が生まれるよう工夫されています。

毎回設定されるテーマについて意見を交わし、最後にグループごとに発表。多様な視点や気づきを共有する機会となっています。参加者は回を追うごとに増加し、現在では90名規模で開催。リピーターも多く、店舗単位で参加者が増えるなど、社内に広がりを見せています。また、関連企業や就職活動中の学生の参加もあり、当社の考え方や雰囲気に触れていただく機会にもなっています。

ARIGA島は、対話を通じて一人ひとりの気づきを促し、相互理解を深め、日々のコミュニケーションの質を高め、より良い職場づくりへとつながっていくことを目指しています。

ARIGA島は、もっと「ありがとう」が自然に生まれる会社を目指して始めた取り組みで、少しでも日常を離れた雰囲気の中で、肩の力を抜き、素直な言葉で語り合ってほしい…そんな想いで開催しています。

対話を通じて気づきや変化が生まれ、「自分の職場でも実践したい」という声も広がっています。この場に共感し、入社を決めてくれた学生がいることも励みの一つです。

これからも一人ひとりの意識の変化を積み重ね、「ありがとう」が広がる組織づくりにつなげていきたいと思っています。

ARIGA島 島長(しまおさ) 管理部 総務人事課 大橋スタッフ

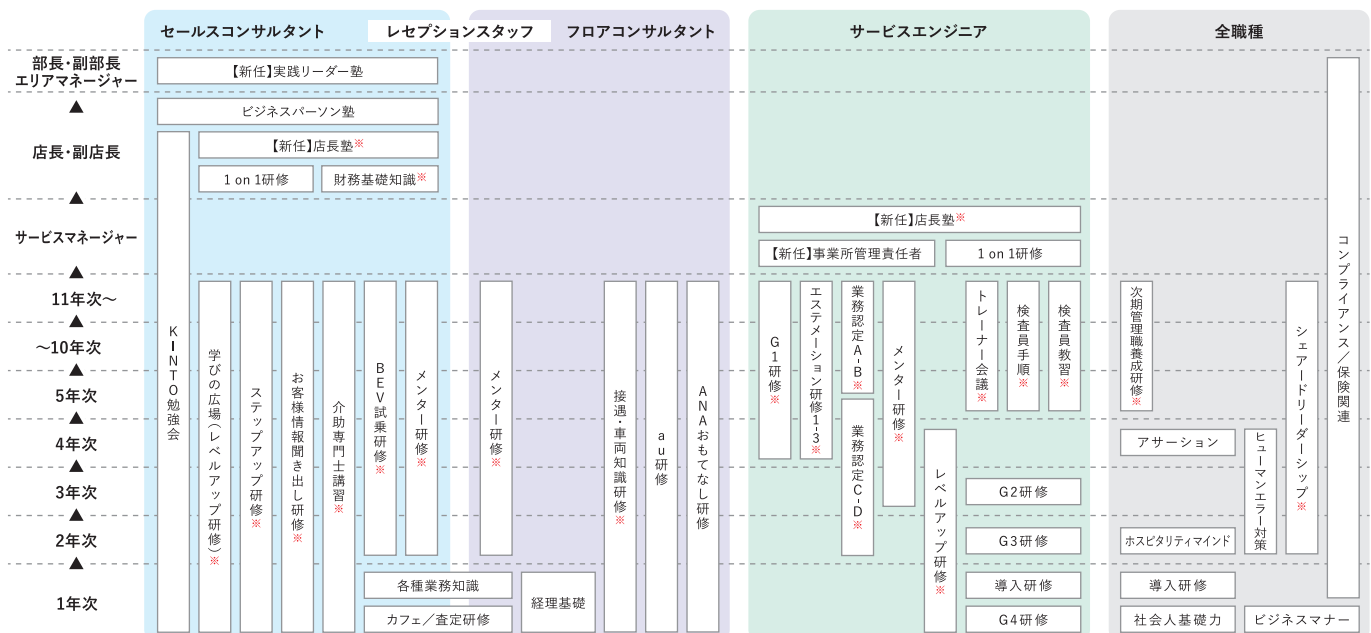


自分らしく輝き、成長を楽しむ。

スタッフ一人ひとりの「成長の実感」と「心の充実」が、お客様の笑顔に繋がると考え、充実の研修を用意。社会人基礎から、自動車・保険の専門知識まで段階的に学び、資格取得を支援する体制を整えています。

着実なスキルアップによって自己肯定感が高まり、プロとして誇りを持ちながら、自らのキャリアを豊かに育める環境を整えています。

成長・やりがいを実感し、成長し続ける研修プログラム（2025年度実績）



※選抜、希望制など



入社3年目の私は、現在店舗のフロアコンサルタントとして、お客様のお出迎えやお見送り、点検受付、電話対応などを担当しています。ご来店されたお客様が安心して過ごしていただけるよう、常に丁寧な対応を心がけています。

仕事の中で特にやりがいを感じるのは、お客様のお困りごとを解決し、「ありがとう」と声をかけていただけたときです。クルマの操作やスマートフォンの接続、ナビの設定などで困って来店されたお客様のお手伝いをし、無事に解決できたときには、自分の対応がお役に立てたことを実感し、大きな喜びにつながっています。

入社当初はクルマの知識がほとんどなく、不安を感じることもありましたが、先輩方に教えていただきながら専門用語や基本的な知識を一つずつ覚えてきました。分からないことは積極的に質問し、自分なりに整理しながら学ぶことで、少しずつ自信を持って対応できる場面が増えてきたと感じています。現在はスマートフォンに関する研修や、クルマの基礎知識を学ぶ研修にも積極的に参加し、より分かりやすくご説明できるよう努めています。

休日は愛犬と過ごすことが、私にとって癒しとなっています。散歩やドッグランに出かけて一緒に遊んだりすることがリフレッシュとなり、仕事への活力につながっています。

これからも知識を深めながら、できることを一つずつ増やし、お客様から信頼していただける存在を目指して成長していきたいです。

水戸千波店 フロアコンサルタント 櫻井スタッフ

知識を積み重ね、成長を実感する毎日

全国大会が教えてくれた「応援の力」と「感謝の心」

私は、車両の修復を専門に行うテクノセンターで、钣金・塗装(以下BP)業務に携わっています。このたび「2026年全国トヨタ販売店サービススキルコンテスト全国大会(BP競技)」に出場しました。

大会に向けては、想定内容をもとに類似作業を繰り返し準備を進めました。私自身、これまで長くBP業務に携わってきましたが、作業にはさまざまな正解があり、経験年数が高いことが必ずしも有利になるわけではありません。競技という限られた時間の中で正確に仕上げる難しさを改めて実感しました。

大会当日、特に印象に残っているのは仲間からの応援です。日常業務では経験することのない形で、多くの仲間や関係者の皆さんから声をかけていただき、大きな励みとなりました。仲間の顔を見るだけで安心でき、自然と力が湧いてくる感覚があり、「応援の力」を強く実感する機会となりました。

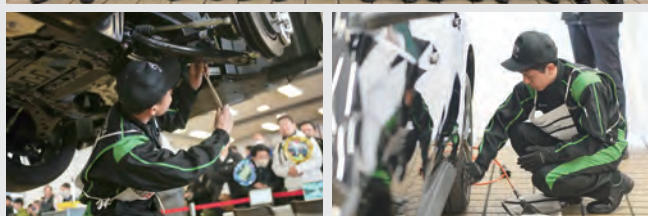
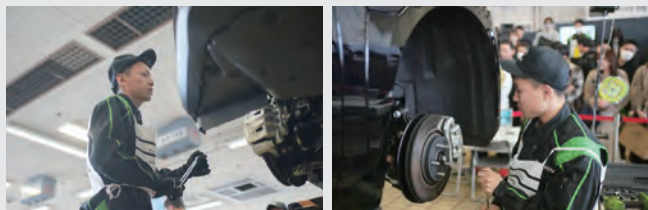
大会終了後には出場者が集まり、それぞれの作業について意見を交わす振り返りの機会をいただきました。同じ条件でも考え方や手順の違いが仕上がりに表れ、自分にはなかった視点に気づくことができ、大きな学びとなりました。

今回の大会出場において、挑戦の機会をいただいたこと、そして日頃から支えてくれている仲間の存在に改めて感謝しています。今後は得た気づきや経験を日々の業務に確実に反映させ、BP技術者としての精度と判断力をさらに高めていきたいと考えています。

これからも安定した品質と安心につながる仕事を積み重ね、次の世代にもつなげる技術を残していけるよう努めていきます。

2026年 全国トヨタ販売店サービススキルコンテスト 全国大会(BP競技)出場

テクノセンター BP エンジニア 小菅スタッフ



社内 2025年度 茨城トヨペット サービススキルコンテスト

2026年2月2日(月)に水戸千波店テクノショップにて2025年度 茨城トヨペットサービススキルコンテストが開催されました。

本大会は、サービスエンジニアの技術力と人間力の向上を目的に、正確な整備技術とお客様に信頼される対応力を磨くとともに、互いに成長し合う人材育成の場です。

競技課題は、日常業務で起こりうるお客様の困りごとをもとに設定し、実務に直結したスキルを評価します。1年次・2年次競技では、作業における安全性・正確性に加え、成長段階に応じた力を確認。代表競技では、お客様対応や問診、診断、再発防止提案までの総合力が問われます。

2025年度は、計31名が出場。本大会を通じて培われた技術力と人間力は、お客様の安心・安全なカーライフを支える基盤となるとともに、地域社会から信頼され続ける企業づくりに貢献しています。

競技結果

■代表エンジニア競技

- ・銀賞 佐藤 大樹(人財創造課)
重藤 大貴(笠間大鳥居店)
- ・銅賞 森田 洋樹(神栖知手店)
金子 竜也(日立田尻店)
鈴木 竜太郎(日立森山店)

■2年次エンジニア競技

- ・敢闘賞 藤井 海人(レクサスつくば)

■1年次エンジニア競技

- ・金賞 福田 大海(土浦荒川沖店)
森谷 悠輝(古河東牛谷店)

※所属は2025年度サービススキルコンテスト開催時

持続可能な発展を実現する社会をめざして。

私たち茨城トヨペットは、事業の特性を活かした車両提供、盲導犬の育成協力などの活動やスポーツ・教育支援活動など、地域との共生を図る様々な活動も行っており、これらの活動を持続的に行うことは、事業活動を営む重要な基盤になっています。

また、私たちが住む地球のさまざまな環境問題が深刻化していく中、私たちは企業活動における環境負荷削減・環境リスク低減を通じて、持続可能な社会の発展と地球環境保全に貢献していきます。



茨城トヨペットの誓い CSR基本方針／環境方針／労働安全衛生方針

社会

誠実 約束を守ること

関係法令を遵守し
公正な企業活動と環境保護を行います。

親切 気を配ること

社会、ステークホルダーと調和し、
信用を第一義とした企業活動を行います。

スピード 時間を大事にすること

既存の常識や枠組みにとらわれることなく
新たな可能性にチャレンジします。

行動 憲章

【お客様に対して】

- 私たちは、【お客様と一生涯“笑顔”のおつきあい。】【カーライフの“快適”と“安全”でお役立ち。】の基本理念に基づき、お客様に真に満足頂ける優れた商品とサービスの提供に努めます。
- 私たちは道路運送車両法、消費者契約法、自動車公正競争規約など関連法令およびその精神を遵守し、お客様に信頼される営業活動を推進します。
- 私たちは、個人情報保護法及びその精神を遵守し、お客様の個人情報保護の徹底に努めます。
- 私たちは、お客様の要請・期待に応えることを第一と考え、公正で誠実な対応を実践し、お客様との絆を深めます。

【社会・環境に対して】

- 私たちは、環境目的・目標を定めて継続的に環境改善に努め、事業活動を通じ地球環境・地域社会との調和ある成長を目指します。
- 私たちは、省エネ・省資源・リサイクルの推進により廃棄物、二酸化炭素を削減し、環境保護と汚染の予防、気候変動の緩和と気候変動への適応に努めます。
- 私たちは、社会・経済の要請に応え、法令等を守り、「人間性尊重」の経営を実践します。
- 私たちは、コミュニティの成長と豊かな社会作りを目指し、社会貢献活動を積極的に推進します。
- 私たちは、交通安全対策へ積極的に取り組みます。

【取引先に対して】

- 私たちは、取引先を尊重し、長期的な視野に立って相互信頼に基づく共栄共存の実現に取り組みます。
- 私たちは、独占禁止法、下請法をはじめとする関連法令およびその精神を遵守します。
- 私たちは、社会通念の範囲を超える利益の供与、申し出、約束をせず、自由で公正な取引を維持します。

【茨城トヨペットのメンバーに対して】

- 私たちは、安全で健康的な職場環境作りに努めます。
- 私たちは、労働関連法令を遵守すると共に必要な自主基準を設け管理レベルの向上を図ります。
- 私たちは、継続的な安全衛生水準の向上を目指し、『作業手順書』に沿った作業の遂行を徹底します。
- 私たちは、危険ゼロ・健康障害ゼロを目指すために、危険性又は有害性等を調査し実施事項を決定して、事故・労働災害の未然及び再発防止を図ります。
- 私たちは、メンバーが生き生きと働けるように、相互信頼・相互責任の精神にのっとり、互いを思いやり、それぞれの考え方や立場を尊重します。
- 私たちは、メンバーが誠実に仕事に取り組み、新しい価値の創造を目指すことができるよう、個々人の自己啓発・成長を支援します。
- 私たちは、機密情報を厳重に扱うとともに、適時的確な情報開示に努めます。

茨城トヨペット株式会社
代表取締役社長 幡谷 俊一郎

県内3カ所で「福祉車両体感フェア」を開催



2025年10月19日（日） スイコウスクエア
スイコウパーク（水戸市）



2025年11月30日（日） 共和電設とねミドリ館
Kogaインクルーシブフェスティバル（古河市）



2025年12月3日（水）～5日（金） 日立市役所
ひたち障害者週間キャンペーン（日立市）

「福祉車両について多くの方に知っていただき、地域のお困りごとの解決につなげたい」という想いのもと、トヨタの福祉車両「ウェルキャブ」を実際に見て、触れて、体感いただける「福祉車両体感フェア」を県内3カ所（水戸市・古河市・日立市）で開催いたしました。

会場では、車いす仕様車や乗降サポート機能付き車両の展示に加え、車いす収納用品「オートボックス」や手動運転シミュレーターなどの体験コーナーも設置し、実際の使い勝手を確認いただきました。

また、会場には専門のスタッフが常駐し、お客様一人ひとりの使用環境やお困りごとに合わせた車両選びやカスタマイズについてご相談を承りました。カタログだけでは伝わりにくい機能や操作性を、実車を通じて体感いただくことで、より具体的なイメージを持っていただける機会となりました。

これからも、誰もが安心して移動できる社会の実現を目指し、地域に寄り添った活動を継続してまいります。

福祉車両「ウェルキャブ」販売



「すべてのお客様に移動する自由を」という願いを込めて、2013年4月につくば西大橋店にウェルキャブステーションを設置しました。
ウェルキャブ車両の常設展示や専門スタッフによる適切なアドバイスを行っています。

AEDを全店舗に配置



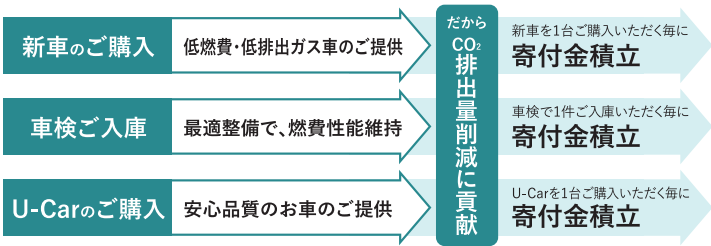
全店舗にAED（自動体外式除細動器）を設置し、お客様や社員の安全確保に努めています。
ご高齢の方や体が不自由なお客様はもちろん、どなたでも安心してご来店・ご相談いただける環境づくりに努めています。

幼児向け交通安全教材の贈呈



県内のご希望いただいた幼稚園や保育所に、交通安全の大切さを楽しく学べる教材をプレゼントしています。本年度は交通安全絵本「クックのこうつうあんぜんえほん『はじめてのいちごがり』」を寄贈いたしました。

「盲導犬育成基金」を積立て（公財）日本盲導犬協会へ寄付



茨城トヨベットの2008年から「車両ご購入」「車検ご入庫」1台ごとに売上の一部を盲導犬育成基金として積立てております。ご購入いただきました皆様も「CO₂の削減に貢献する車を普及」させると同時に積立金を通じ、盲導犬の育成にご協力いただいていることとなります。

皆様のご協力により、当社の基金でこれまでに14頭の盲導犬がデビューしています。
2024年度は盲導犬育成基金として積み立てられた3,071,250円を寄付いたしました。ご協力いただきありがとうございました。

集まった積立金を「盲導犬育成基金」として（公財）日本盲導犬協会へ寄付

各店舗には募金箱も設置しております。

人と盲導犬が笑顔で歩く社会へ

日本盲導犬協会

<https://www.moudouken.net>

IBARAKI TOYOPET

70th
Anniversary

茨城トヨペット70年の歩み

1956

水戸市五軒町にて創業

1956年、地元・茨城に必要とされる会社を目指して同士24名で創業。創業当時、茨城トヨペット販売株式会社は、車を販売するだけでなく後のメンテナンスにも重きを置き、国内に先駆けてサービス工場を併設する。

1962年には2店舗目となる土浦営業所を開設し、従業員は181名に増加した。



これからも、

日本一「ありがとう」であふれる会社を目指して

1956年11月の創業以来、地域の皆様とともに歩みを重ねてまいりました。

おかげさまで、2026年11月に創立70周年という大きな節目を迎える運びとなっております。

これもひとえに、永年にわたるお客様のご愛顧、ビジネスパートナーの皆様のご支援、そして社員一人ひとりの誠実な努力の積み重ねの賜物と、心より感謝申し上げます。

これまでの歴史は、地域の皆様からいただいた“ありがとうの声”とともに築かれてきました。

先代から受け継いだ想いを胸に、私たちはその感謝を力に変え、これからも地域社会に喜ばれる存在であり続けたいと願っております。

70周年を新たな出発点とし、これからも地域社会の一員として、皆様にとって欠かせない企業であり続けられるよう、挑戦と変化を恐れず歩を進めてまいります。

そして、未来に向けて、日本一“ありがとう”であふれる会社を目指し、社員一同努めてまいります。

茨城トヨペット株式会社 代表取締役社長
幡谷 俊一郎

環境保全活動

地球環境の保護と豊かな社会を実現するために

環境活動の国際規格、ISO14001認証取得

茨城トヨペットは、持続可能な開発をテーマに法規制の遵守などにとどまらず、自主的、積極的かつ継続的に環境保全に取り組むためのマネジメントシステムを定めた国際規格「ISO14001」の認証取得に県内でもっとも早く着手してきました。

2001年度にまず2店舗の「ISO14001」認証を取得。順次認証範囲を拡大し、2025年4月現在本社及び38サイトのISO14001認証を取得しています。

■ ISO14001とは

ISO14001とは、企業や組織が環境保護に取り組むためにISO※が定めた環境マネジメントシステムの国際規格のことです。

ISOより認定を受けた機関が、企業のこの規格に対する適合状況（マネジメントシステムの構築と運用状況）を審査し、合格すれば認証を取得できます。認証取得後も継続して維持審査（定期審査）、更新審査があります。

「販売」「整備」「廃棄」にかかわる過程での環境影響に対応するため【低燃費・低排出ガス車の社会への提供】【廃油・廃部品の適正処理】【テクノショップの管理】【CO₂の削減】などの環境目標を設定し、毎年社内監査チームによる【内部監査】、1月には当社の環境マネジメントがISO14001の要求事項に適合して構築・運用されていることを確認する第三者機関による【定期審査】が行われます。

※International Organization for Standardization:国際標準化機構

■ ISO14001認証拠点（2026年4月現在）



ISO14001登録証

本社、水戸千波店、大宮バイパス店、日立田尻店、日立森山店、牛久南店、筑西神分店、石岡東大橋店、江戸崎店、古河東牛谷店、坂東店、大津港店、大子バイパス店、笠間大鳥居店、下妻店、常総石下店、神栖店、守谷松並店、ひたちなか昭和通り店、潮来店、テクノセンター及びU-Car商品課、U-Carセンター6号水戸店、笠松運動公園店、小川野田店、つくば西大橋店、6号取手店、竜ヶ崎出し山店、ひたち野うしく店、神栖知手店、土浦荒川沖店、つくば東大通り店、土浦並木店、U-Carセンター6号みのり店、つくば学園の森店、つくばみどりの店、GR Garee つくば、レクサスつくば、レクサスCPOつくば、レクサスCPO神栖



ISO14001と気候変動への取り組み

茨城トヨペット株式会社は、環境マネジメントの国際規格であるISO14001に基づき、環境保全活動を推進しています。

2024年、この規格に「気候変動への配慮」が明確に追加されました。

これは、気候変動が“将来の課題”ではなく、“いま取り組むべき経営課題”であることを示しています。

なぜ、気候変動に取り組むのか

近年、猛暑・豪雨・大型台風などの異常気象が頻発し、私たちの生活や事業活動にも影響が及んでいます。この深刻な状況は「気候危機」とも呼ばれ、企業だけでなく社会全体で向き合うべき課題です。

2つの視点で考える気候変動

1 気候変動適応社会への移行（社会の変化）

- ・脱炭素社会への転換
- ・電動車の普及拡大
- ・CO₂排出削減への社会的要請

自動車販売・整備業である当社にとっても、環境配慮型経営への転換は重要な使命です。

2 気候変動による物理的変化（実際の影響）

- ・豪雨や台風による店舗被害
- ・猛暑による従業員への影響
- ・サプライチェーンの寸断

事業継続と安全確保の観点からも、備えが不可欠です。

当社の取り組み

- ・エネルギー使用量の削減
- ・CO₂排出量の把握と低減
- ・廃棄物の適正管理
- ・電動車の普及促進
- ・従業員への環境教育

ISO14001を通じて環境視点を経営に組み込み、継続的な改善を行っています。

未来へ向けて

気候変動は、一企業だけで解決できる問題ではありません。「気候危機」は遠い未来の話ではなく、いまを生きる私たち全員の課題です。

「日常の省エネ行動」「環境に配慮した商品選択」「無駄を減らす工夫」こうした一人ひとりの行動が社会を変えていきます。

茨城トヨペットは、地域とともに持続可能な未来づくりに取り組んでまいります。



茨城トヨペットは 地球のため、未来のため、子どもたちのために 毎日実践しています！

ゴミ置場

日頃より廃棄物置場の4S
(整理・整頓・清掃・清潔)・分別を推進
各廃部品は、廃棄物置場に設置した容器ごとに
分別・細分化して保管
指定業者にて適正処分
産業廃棄物管理票(電子マニフェスト)で処分を確認

アルミ缶・スチール缶・
オイルフィルタ等を
「カンクラッシャー」にて
圧縮して保管・排出



ゴミ置場



廃油タンク



油水分離槽

油水分離槽

工場から出る排水は
こちらで油分と水に分離
毎週、汚れ・油浮きを
点検・定期清掃実施

廃油タンク

日常点検で毎日廃油の
漏れ、保管量を確認

サービスエンジニア

整備技能向上を図るため
全エンジニアが「トヨタ技術検定」
1級取得を目指し取り組む

部品庫

廃棄物の削減、省資源を目的
としたトヨタかんぱん方式に
よる在庫部品管理

社用車

CO₂排出量の削減を目的として
社用車に電動車を使用
運転は「エコドライブ」を徹底

特定施設(エアコンプレッサー・
門型洗車機)の騒音で近隣に
迷惑をかけていないか点検実施
その他夜間照明・臭い・埃等で
迷惑をかけていないか点検

燃料消費削減のための
「待ち車検」の推進

テクノショップ

日頃から「汚さない作業」と、
「汚したらその場で清掃」の徹底
オイルをこぼしてしまった時は
ウエスですぐ拭き取る
定期的にオイル流出等緊急事態を
想定した訓練を実施
自社钣金工場での内製化を推進
水性塗料への切り替え

休憩・会議室

CO₂削減のため、
未使用場所・昼休み・
休憩時間等の消灯を徹底

キッズスペースを設置し
安全性に配慮

AEDの設置

快適にお過ごしいただける
ラウンジ

事務所

CO₂削減のためエアコン温度の設定及び管理
(クールビズ・ウォームビズの実施)
事務用品はグリーン商品を積極的に購入
個人情報情報はシュレッダー処理
古紙リサイクルの推進

盲導犬募金箱 の設置

解約済みの
古い携帯電話の
回収

地域コミュニケーション

「こども110番の店」事業を展開
毎月1回地域周辺のゴミ拾いを実施

ショールーム

お客様のおクルマの燃費性能維持・最適メンテナンスを
目的とした「スマイルパスポート」の販売
積極的に蛍光灯照明器具をLEDに切り替え

看板

センサー付タイマーで
無駄な電力使用を削減



騒音等の点検



社用車



照明をLEDに



盲導犬募金箱の設置



AEDの設置

Environmental Report

2025
年度

環境報告

SHOW
ROOM

IBARAKI TOYOPET MITO SENBA

PHOTO:茨城トヨペット 水戸千波店 ショールーム

1

低燃費・低排出ガス車の
社会への提供

2025年度 電動車販売台数

5,230台

1997年、世界初の量産型HEVとして誕生したプリウス。現在はプリウスをはじめ、bZ4X(BEV)など、環境性能を追求したBEV/HEV/PHEV/FCEVなどの電動車をお客様にお届けしています。



2

安心品質のお車の提供

2025年度 U-Car小売台数

2,830台

下取したお車の徹底した事前点検と社内クリーニング、エンジンオイルやエレメント交換等の整備を行い、次のお客様に品質管理を徹底した中古車を提供しています。

「3つの安心※1」をセットにしたトヨタ認定中古車も数多く取り揃えるなど、環境保全型ビジネスを推進しています。

※1:車両検査証明書、まるごとクリーニング、ロングラン保証



3

お客様のお車の燃費性能維持

2025年度 車検入庫台数

35,164台

スマイルパスポート会員数※2

42,126台

トヨタブランドの品質基準に基づき、点検・車検整備を迅速に実施しています。

また、お車の性能維持をサポートするメンテナンスバックメニュー「スマイルパスポート」をお勧めします。

※2:2026年4月現在



Environmental Report

HEAD
OFFICE

IBARAKI TOYOPET

2025年度のISO14001更新審査は、日本自動車研究所認証センターの審査員により2025年12月17日～20日の4日間で行われました。

PHOTO:茨城トヨペット 本社

4 燃料使用量

2025年度 原油換算使用量

554,548L

ガソリン、軽油、灯油などの燃料を原油に換算して年度ごとの使用量を把握しています。低燃費車プリウスの導入やエコドライブなどによる削減を実施しています。

燃料使用量推移

	原油換算使用量	1店舗当たり	2001年比
01年度【基準年】	1,081,007	30,028	-
22年度	631,846	15,411	51.3%
23年度	596,882	14,211	47.3%
24年度	584,585	13,919	46.4%
25年度	554,548	13,204	44.0%

単位:L



5 省電力

2025年度 使用電力量

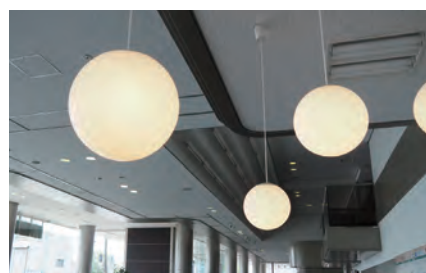
4,645,547kWh

省電力タイプの照明や冷暖房器具を採用し、こまめな消灯やクールビズ・ウォームビズの導入による温度調整を励行することで、省電力に努めています。

使用電力量推移

	使用電力量	1店舗当たり	2001年比
01年度【基準年】	4,549,165	126,366	-
22年度	3,584,356	85,342	67.5%
23年度	3,782,697	87,970	69.6%
24年度	4,282,204	99,586	78.8%
25年度	4,645,547	108,036	85.5%

単位:kWh

6 CO₂排出量2025年度 CO₂排出量3,528t-CO₂

電力使用量、燃料使用量削減の結果、1店舗あたりのCO₂排出量も削減しています。

CO₂排出量推移

	CO ₂ 排出量	1店舗当たり	2001年比
01年度【基準年】	5,340	148.3	-
22年度	3,247	79.2	53.4%
23年度	2,997	71.4	48.1%
24年度	3,664	87.2	58.8%
25年度	3,528	84.0	56.6%

単位:t-CO₂(二酸化炭素トン):さまざまな温室効果ガス(CO₂、メタン、一酸化二窒素など)をCO₂に換算し、t(トン)単位で表示した値。

※2006年度より政府によって公表された電力会社の実績値を用いて算定を行うことが出来るため、電力部分の算定にミツウロコグリーンエネルギー公表値を使用しています。



●2001年度は環境マネジメント導入開始年のため、4 5 6 のデータで基準年度としています。

Environmental Report

2025
年度

環境報告

TECHNO SHOP

IBARAKI TOYOPET MITO SENBA

PHOTO:茨城トヨペット 水戸千波店 テクノショップ

7

廃油・廃部品の適正処理

2025年度 産廃排出量※

環境保全は発生源対策が基本と考え、事業活動全般の領域で省資源化・分別、リサイクル推進と廃棄物の削減、汚染の予防に努めています。

産廃排出量推移

	産廃排出量	1店舗当たり	前年比
2020年度	845.8	21.1	-
2021年度	962.9	24.1	113.8%
2022年度	667.8	16.7	69.3%
2023年度	635.7	15.5	95.2%
2024年度	558.6	13.6	87.9%
2025年度	558.6	13.6	100.0%

単位:t

※これまで掲載していた産業廃棄物処理料に代わり、今回より産業廃棄物の排出量を掲載しております。実際の排出状況により明確に把握・開示することで、環境負荷低減への取り組みをより具体的にお伝えできる内容といたしました。

廃棄物の種類と主な処分方法

古紙／ダンボール／ 新聞紙／雑誌等	新たな紙製品に再生
樹脂バンパー 【トヨタ車のみ】	自動車部品に再生
バッテリー	回収後リサイクル
廃油	重油に再生
金属部品	金属製品に再利用
プラスチック類／ ガラスくず及び陶磁器くず／ 電池／冷却水／ シュレッダーくず	回収後、適正に処分 (一部リサイクル)
タイヤ	工場燃料に利用
ガラス／蛍光管	ガラス製品に再生



廃油タンク



ゴミ置き場

8

古紙リサイクルの推進

2025年度 古紙リサイクル量(全店)

86,870kg

樹齢30年の木
約1,737本分※3

オフィスから出る紙をリサイクルする取り組みを2009年度より始めました。

※3:50kgの紙は樹齢30年の木1本分と言われています。



9

トヨタ技術検定

2025年度 各種検定 保有状況

トヨタの技術力を支えるサービスエンジニア。茨城トヨペットには技術を磨いた整備のプロフェッショナルが数多く在籍しています。

2025年度 トヨタ技術検定1級保有状況

保有者数	保有者比率	1店舗あたり
181人	67.5%	4.5人

2025年度 トヨタエスティメーション
(銀金見積もり)検定 1級保有状況

保有者数	1級在籍店舗比率
123人	100.0%



Environmental Report

社用車の電動化推進



地球環境保護活動の一環としてCO₂排出量の削減に取り組んでいます。社用車として「プリウス」や「MIRAI」など電動車を多数使用しています。

店舗で太陽光発電を積極的に導入



カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けて、発電時にCO₂を排出しない太陽光発電を積極的に導入しています。

現在、水戸千波店・ひたちなか昭和通り店・つくば学園の森店・つくばみどりの店・神栖知手店の5店舗にソーラーパネルを設置しております。

ユニフォームを回収し、資源として再利用



使用済みのユニフォームを回収し、廃棄物ではなく資源として再生し、自動車の断熱材や防音材等、新たな製品にリサイクルする活動に取り組んでいます。限りある資源を有効に活用し、持続可能な社会の実現に寄与していきます。

茨城エコ事業所認定



この制度は、事業所の規模や業種等に関わらず、環境に配慮した取り組みを行う事業所を、茨城県が「茨城エコ事業所」として登録して、その取り組みを広く県民に紹介するものです。

茨城トヨペットは、2008年10月14日付けで茨城エコ事業所として登録認定されました。

生ごみを堆肥に



本社社員食堂から出た生ごみは生ごみ処理機で処理することで大幅なごみ減量化とごみ処理費用の削減につながっています。

年間約2,400kg排出していた生ごみは80%以上が水と炭酸ガスに分解され、発酵分解した残りは有機肥料の原料になります。

環境目的・目標

	環境目的	環境目標	環境影響	評価
環境保全型ビジネスの推進	低燃費・低排出ガス車の社会への提供	低燃費車・電動車の普及	地球温暖化防止 大気汚染予防	△
	安心品質のお車の提供	U-Car販売の促進		△
	お客様のお車の燃費性能維持	車検入庫台数 目標達成		△
	安心品質のお車の提供・省資源の推進	鈑金整備台数の向上及び再修理率の低減	資源枯渇低減	△
	盲導犬基金への協賛	新車受注毎の積立 U-Car販売毎の積立 車検入庫毎の積立	社会貢献 盲導犬の普及	○
環境保全活動	CO ₂ の削減	電気使用量の削減	地球温暖化防止／資源枯渇低減	○
		燃料使用量の削減		○
	省資源の推進	古紙リサイクルの推進	森林保護	○
		蛍光灯リサイクルの推進	資源枯渇低減	○
管理 テクノショップ	廃棄物の適正処理	リサイクルの推進と廃棄物の削減	生活環境の保全／公衆衛生の向上	○
	エアーコンプレッサー・洗車機の騒音管理	運用手順の遵守、自主点検の実施	健康障害予防	○
	緊急事態への対応	油水分離槽の点検・定期清掃実施	水質保全／公害防止	○
		緊急事態発生時の対処方法訓練実施		○



イベントに関する詳しい情報はこちら

人の心に緑の憩いを。第48回 ふれあいグリーンキャンペーンを開催



地域に根ざした環境保全・緑化活動として“人の心に緑の憩いを”をスローガンに、1976年より「ふれあいグリーンキャンペーン」を開催。茨城県内の植樹活動に力をいれています。

エコという言葉が騒がれていなかった40年以上前から、これまでに県内の各自治体にたくさんの苗木を寄贈してまいりました。

また、環境問題に積極的に取組む企業として、グリーンキャンペーンとあわせて“環境性能を追求したエコカー”を取扱うディーラーとして、BEV/HEV/PHEV/FCEVなどのエコカーについて情報発信を行っています。

2025年6月8日(日)に行われた48回目の苗木寄贈式は、小美玉市長 島田 幸三様、茨城トヨペット株式会社 幡谷会長、幡谷社長、タレントの岡田 朋峰様他、関係者が出席して行われ、小美玉市やすらぎの里小川にアジサイ株約200株を寄贈し、ご参加いただいた皆様と共にアジサイの苗を植樹しました。

地球環境問題に対する取り組みは、現代を生きるすべての人が考えなければならない問題です。自動車を販売する会社として、様々な地球環境問題に対して真剣に取り組んでいくことが、日頃ご愛顧いただいているお客様および社会に対する私たちの使命であると考えています。

■2025年6月8日(日) 開催
■主催：茨城トヨペット株式会社
■協力：小美玉市 ■会場：やすらぎの里小川
■寄贈先：小美玉市 ■寄贈品：アジサイ株 200株

茨城県環境保全プロジェクト トヨタソーシャルフェス2025に参加



自然と親しみながら環境について考える TOYOTA SOCIAL FES!!。2025年10月19日(日)、幅広い年代の約100名が参加し、那珂川の河口付近に架かる海門橋周辺の清掃活動や環境学習などに取り組みました。

壊れたプラスチックの植木鉢やビン、食品のトレーなどのゴミを拾い集めました。約1時間分の清掃で集めたゴミの総重量は約200kgに達しました。中にはランドセルやポートなど見慣れないゴミも落ちており参加者は驚いた様子でした。

■2025年10月19日(日) 開催
■主催：特定非営利活動法人 大洗海の大学
■共催：茨城新聞社
■後援：大洗町
■協力：大洗サーフ・ライフ・セービングクラブ、願入寺
■企画制作：茨城新聞社営業局

清掃活動後、海門橋近くの願入寺に移動しオリジナルのキーホルダーを制作しました。材料には、微細な海洋ゴミ「マイクロプラスチック」を使用。制作したキーホルダーには「環境問題を自分の問題として考えてほしい」という思いが込められています。

キーホルダー作りを通して環境について学んだ参加者は「想像以上にゴミが出てびっくりした」「普段からゴミを減らすことを意識したい」「ゴミを拾うことで気持ちがよくなりました」などの声が上がりました。

TOYOTA SOCIAL FES!!
活動の記録
2021-2025はこちら



お申し込みフォーム

イベントの開催・出張授業などをご希望の企業・団体の方は左のお申し込みフォーム(二次元バーコード)からご連絡ください。担当者からご連絡させていただきます。

ぜひ
ご連絡
ください!

NETWORK

県内全域に広がる安心のネットワーク



県内全域に広がる安心のネットワークと
サービスエンジニアの確かな技術で、
お客様のカーライフをトータルサポートいたします。



茨城トヨペット株式会社 会社概要

設立 1956(昭和31)年11月1日
代表取締役社長 幡谷 俊一郎
資本金 5,000万円
従業員 824人(2026年4月現在)

営業状況(2026年3月期)

売上高 471.4億円
新車販売台数 7,792台
U-Car小売台数 2,830台
車両総整備台数(社外) 200,097台
車検整備台数 35,164台

事業内容

トヨタの新車販売、ウェルキャブ車販売、各種優良中古車販売(国産車)、
自動車関連商品販売、メンテナンスパック(スマイルパスポート)販売、
自動車の点検・整備・修理業務、自動車買い取り(T-UP)、自動車リース、
保険代理店(損害保険・生命保険等)、モバイル商品取扱い(au携帯電話
販売等)、レックス事業、カーシェアリング事業、洗濯代行・コインランド
リー事業、キャンピングカー事業

Shop List

★ISO認証店舗(適用範囲:自動車の販売、整備及び修理)

県北エリア

- ① 大津港店 ★
北茨城市関南町神岡下339-1
0293-46-5551
- ② 日立田尻店 ★
日立市田尻町4-36-1
0294-42-9611
- ③ 日立森山店 ★
日立市森山町5-1-8
0294-52-6306
- ④ 大子バイパス店 ★
久慈郡大子町池田1312-2
0295-72-5671
- ⑤ 大宮バイパス店 ★
常陸大宮市泉517-6
0295-52-1171
- ⑥ 笠松運動公園店 ★
ひたちなか市佐和2335-7
029-285-4111
- ⑦ ひたちなか昭和通り店 ★
ひたちなか市中根888-1
029-272-5671

県央エリア

- ⑧ アートタワー水戸店 ※
水戸市千波町1987
029-387-3373
- ⑨ 水戸千波店 ★
水戸市千波町2028-1
029-241-1121
- ⑩ 笠間大鳥居店 ★
笠間市飯合100-1
0296-74-4511
- ⑪ 小川野田店 ★
小美玉市川戸1353
0299-58-2831
- ⑫ U-Carセンター6号水戸店 ★
東茨城郡茨城町長岡4255-3
029-292-7221
- ⑬ U-Carセンター6号みのり店 ★
小美玉市西郷地1531-7
0299-48-2070
- ⑭ WASH&FOLD 水戸千波店
水戸市千波町1913-5
029-241-4040

※アートタワー水戸店は仮設店舗へ移転して営業しております。

県南エリア

- ⑮ 石岡東大橋店 ★
石岡市石岡2930
0299-23-2291
- ⑯ 土浦並木店 ★
土浦市土坂田1468
029-862-3111
- ⑰ 土浦荒川沖店 ★
土浦市荒川沖471-1
029-842-1234
- ⑱ ひたち野うしく店 ★
牛久市ひたち野東1-24-4
029-871-4361
- ⑲ 牛久南店 ★
牛久市牛久町822
029-873-3936
- ⑳ 6号取手店 ★
取手市井野台4-1-1
0297-74-8111
- ㉑ 竜ヶ崎出し山店 ★
竜ヶ崎田野原町79
0297-62-7631
- ㉒ 江戸崎店 ★
稲敷市江戸崎甲2561-1
029-892-5671
- ㉓ つくばみどりの店 ★
つくばみどりの2-39-3
029-836-8868
- ㉔ つくば東大通り店 ★
つくば市妻木745-2
029-852-3234
- ㉕ つくば学園の森店 ★
つくば市学園の森3-7-1
029-856-7211
- ㉖ つくば西大橋店 ★
つくば市西大橋648-3
029-858-2850
- ㉗ 守谷松並店 ★
守谷市松並2000-42
0297-46-3511
- ㉘ U-Carセンター土浦高津店
土浦市上高津726-3
029-823-6116
- ㉙ GR Garage つくば ★
AREA298
つくば市学園の森3-2
029-859-5586
- ㉚ レックスつくば ★
つくば市竹園1-4-3
029-855-7301
- ㉛ レックスCPOつくば ★
つくば市西岡418-59
029-861-1150

鹿行エリア

- ㉜ 潮来店 ★
潮来市上戸304-1
0299-64-6010
- ㉝ 神栖店 ★
神栖市堀割3-3-8
0299-92-5420
- ㉞ 神栖知手店 ★
神栖市知手3106-19
0299-95-1121
- ㉟ レックスCPO神栖 ★
神栖市木崎2406-181
0299-93-2322

県西エリア

- ㊿ 筑西神分店 ★
筑西市神分393-1
0296-24-5311
- ㊿ 古河東牛谷店 ★
古河市東牛谷492-5
0280-98-0500
- ㊿ 下妻店 ★
下妻市田下661
0296-43-3706
- ㊿ 常総石下店 ★
常総市新石下1648-1
0297-42-0567
- ㊿ 坂東店 ★
坂東市辺田1402-73
0297-36-0567



環境活動の国際規格、
ISO14001認証取得
茨城県内のトヨタ系ディーラー唯一のISO取得。
茨城トヨペットはこれからも積極的に
環境問題に取り組んでいきます。



茨城トヨペットは全店で
au携帯電話が
ご購入いただけます。
GR Garage つくば、レックスつくば、
レックスCPOつくば、レックスCPO神栖、
WASH&FOLD水戸千波店を除く。



信頼を未来へ—70周年からの新たな一步

「茨城トヨペット CSRレポート2026」を最後までご覧いただき誠にありがとうございます。

茨城トヨペットは、2026年11月に創業70周年を迎えます。これまで多くのお客様にご愛顧を賜り、地域社会の皆様、ビジネスパートナーの皆様、そしてメンバー一人ひとりに支えられてまいりましたことに、心より感謝申し上げます。

当社は、「お客様と一生「笑顔」のお付き合い」「カーライフの“快適”と“安全”でお役立ち」を理念のもと、地域に必要とされる企業を目指して歩んでまいりました。その実現には、メンバーが安心して働き、成長できる環境づくりが欠かせません。仲間と力を合わせ、一歩ずつ前進を重ねることが、企業の成長につながると考えております。

「一人の百歩より、百人の一步」という想いを胸に、「誠実」「親切」「スピード」を大切に、地域社会とのつながりを深め、社会への責任を果たしてまいります。

70周年は通過点です。これまでの歩みに感謝し、新たな一歩で皆様に信頼される企業を目指し、挑戦と前進を続けてまいります。

茨城トヨペット株式会社
会長

幡谷 定俊



Message From Readers

前号(茨城トヨペット CSRレポート 2025)にて
お客様から寄せられた

本誌へのご意見・ご感想

- よく出来ていると思います。企業としてしっかり取り組んでいることがわかります。
- 社員への取り組み(入社前研修等)や環境報告で色々と削減に努力をしている事を知り、改めて茨城トヨペットの素晴らしさを実感する事が出来ました。
- 初めて読ませていただきました。御社が色々な方面に取り組んでいることを知りました。
- メンバー一人ひとりの「個の力」を「組織の力」へは、刺激になりました。
- 車の購入や車検整備が、盲導犬の育成に貢献しているのを知りました。これからも利用させていただきます。
- 車を売るだけではなく色々な事に取り組んでいることを知りました。
- ハイブリッドや水素エンジン、バイポーラニッケル水素などでの環境優位性を特に知りたいので、そのような技術的解説も加えてほしい。
- ビジョン、ポリシーまで整理された良い資料と思いました。販売店を選ぶ上で、信頼感が増しますね。見習いたいです。
- CSRの概念等は理解しておりましたが、項目により細かく記載されており、確認しやすかったです。
- ありがとうございますの連鎖は素晴らしい取り組みです。社員全員がベストボイス賞目指して頑張ってください。
- 茨城トヨペットさんの取り組みは学ぶ事が多いです。仕事で運送業に携わっている為、環境保全活動には共感致しました。

ご意見・ご感想を お聞かせください

皆様からのご意見・ご感想などをお聞かせください。
いただいたご意見・ご感想は今後の改善に活かしてまいります。

■お寄せいただいたアンケートは、次回発行の「茨城トヨペットCSRレポート」に掲載させていただきます。予めご了承ください(個人名等は掲載いたしません)。 ■ご応募いただいた方の個人情報は、プライバシー保護を遵守し、プレゼントの発送業務以外には使用いたしません。

ご意見・ご感想

茨城トヨペットへのご意見・ご要望

- 買ってからのケアを期待します。また、購入したいと思わせて欲しい。
- 店舗の広さや金銭的にも色々悩む事があると思いますがメカニックの方の環境整備(特に夏の対応)に力を入れて欲しいです。
- ペーパーレスの時代だと思いますが車のカタログがあるとオプションを検討する際に助かります。
- 新型車の発売日に合わせて、全店舗に1台は試乗車を置いて欲しい。
- 納車後のメンテナンスや事故等の緊急対応の充実をより望みます。私は、車を購入する上でこの事を一番に考えます。
- トヨペットカフェの心配りと美味しさにいつも嬉しくなります。これからも地域に愛される企業として頑張ってください。
- 接客もお店の清潔感、そして何よりお菓子がとても美味しくて嬉しいです。整備の方も丁寧に安心してメンテナンスを任せられます。
- 野球、モータースポーツに興味があり、貴社の活動も拝見させていただいております。これからもそういった活動を通じて活力を与えてほしいです。
- 来店イベント企画とかあったら、子供も喜んで行くと思います。
- 潮来店には素晴らしいスタッフがいます。店長さんも話しやすく人柄も素晴らしくうちの家族はみんな大好きです。何年もお付き合いさせてもらってます。

読者の皆様が環境や地域社会へ取り組んでいること

- 地元の土手を1時間程ウォーキングしながらゴミ拾いをしています。土日になるとゴミの量が増える傾向にありますがこれからも続けて行こうと思います。
- 海岸清掃、会社近くのゴミ拾いをしています。
- エコバッグを使用したり、なるべくゴミが出ないようにしています。
- 食品ロス防止の観点から値引き商品は率先して購入しております。
- 医療機関で働いており、地域医療への貢献をしています。若者の育成には悩むことがあります。
- 自分の住んでところの魅力を伝える、友達や大学の先生などに伝えています！
- 福祉関係の仕事のため住み慣れた地域で共に暮らす地域共生に取り組んでいます。
- 勤務先周辺の清掃やゴミの持ち帰りを心がけていますが個人では限界があるので、今後は会社を巻き込みたい。
- 古紙、ペットボトル、発泡スチロール等はリサイクルへ出すなど、なるべくごみにせずリサイクル、リユースをするのを心がけています。
- 生ゴミは土に返して肥料として使っています。ゴミは減らすべき時代に来ていますよね。
- サッカー少年団にてボランティア指導者を行い、地域のお祭や清掃活動清掃を通し密接な繋がりを継続している。

たくさんの貴重なご意見・ご感想をありがとうございました。

ご意見・ご感想をいただいた方の中から、毎月抽選で5人の方に



茨城トヨペット
オリジナル

ポリマルシェバッグ(L)を
1つプレゼントいたします。



使いやすい
ポリエステル素材の
大容量マルシェバッグ。

ポリエステル素材なので軽量、折りたたみでコンパクトになるので荷物が多いときなどのサブバッグにもおすすめです！

■サイズ：・本体／約320×360(持ち手含む530)(mm)・持ち手／約50×170(mm)・折りたたみマチ／約200(mm)
■容量：約16L ■素材：ポリエステル ■写真は全てイメージです。デザインは変更になる場合があります。

応募方法

応募はスマートフォンから可能です

下の二次元バーコードから応募フォームにアクセスし、必要事項とアンケートを入力の上、送信してください。



応募フォーム

■ご応募はお1人様1回限りとさせていただきます。

■抽選期間：2027年6月末まで

■当選の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。



日本一、「ありがとう」であふれる会社へ

茨城トヨペットは、国連が掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けて真摯に取り組んでいます。



「SDGs(エスディージーズ)」とは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

さまざまな分野にまたがる国際社会共通の課題に対し、国や政府だけでなく、企業や市民一人ひとりがSDGsを自分のこととして考え行動していくことが大切です。



茨城トヨペットの
SDGsへの取り組み



この冊子は、計画的に植林された木材から生産された用紙に
環境負荷の低いベジタブルオイルインキを使用して
印刷・製造されたものです。



茨城トヨペット株式会社

本社／水戸市千波町2028-1 <https://www.ibaraki-toyopet.co.jp/>

本社 お客様相談テレホン  0120-309567

※この番号は本社(水戸)に通じます。車検・整備等のお問合せは、お店にお電話ください。
受付時間:AM9:30～PM5:30(土・日・祝 ～PM6:00)

※弊社は月曜定休日を基本としておりますが、不規則でお休みを頂く場合もございます。定休日の詳細はホームページをご覧ください。